

有機系太陽電池技術研究組合（略称：R A T O）の概要

- **設立年月日**：平成24年2月22日
- **理事長**：田中 千秋（イノベーションオフィス田中 代表）
- **組合員**：（21企業1団体4個人）
 - アイシン精機(株)、東レ(株)、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)、太陽誘電(株)、御国色素(株)、大阪ガス(株)、デンカ(株)、田中貴金属工業(株)、メルク パフォーマンスマテリアルズ(株)、(株)リコー、フジクラ(株)、日本ケミコン(株)、パナソニック(株)、積水化学工業(株)、東京応化工業(株)、(株)ダイセル、ビブレステック(株)、英弘精機(株)、分光計器(株)、キャットアイ(株)、(株)合同資源、4個人
- **事業費**：平成29年度0.20億円
- **事業の概要**：有機系太陽電池の研究開発。

○組合設立の目的

本組合は、大きな市場形成が期待される有機系太陽電池の事業化をめざしている企業をコアとして、各企業が共通に取り組むべき技術課題に対して対処し、開発を加速することを目的としている。

○実用化の方向性

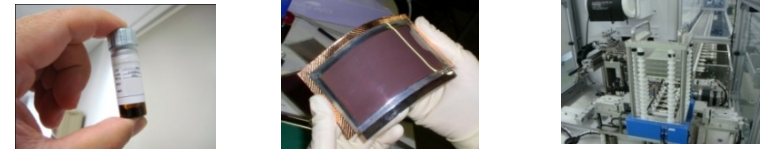
低コスト、低環境負荷などのメリットを有する有機系太陽電池の実用化のため、変換効率の向上、国際規格の制定などの共通に取り組むべき課題に関し、本組合で協同で取り組むことで開発を加速する。

○事業化の目途の時期

数年後の実用化をめざし、平成29年度は、以下の課題に取り組む。

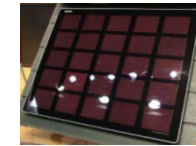
- ①実用化に向けた試作品の設計
 - i) 実証試験用の材料・セルモジュール製造プロセスの検討
 - ii) 多用途化に向けた技術課題の抽出
- ②実用化推進に向けた活動
 - i) 計測技術の開発と国際標準化
 - ii) 用途開拓に係わる普及活動と事業化活動の支援

① 材料・セル・製造プロセスの開発および設計



② 実用化推進のための周辺活動

■ 計測・標準化



■ 用途開拓に係わる調査・宣伝活動



● 研究開発体制

有機系太陽電池技術研究組合

技術委員会（高木克彦委員長）

① 実用化に向けた試作品の設計 リーダー：瓦屋 正英

i) 実証試験用の材料・セルモジュール製造プロセスの検討

東レ(株)
太陽誘電(株)
日本ケミコン(株)
アイシン精機(株)
御国色素(株)
ビフレストック(株)
大阪ガス(株)
合同資源(株)
田中貴金属工業(株)
(株)ダイセル
東京応化工業(株)

ii) 多用途化に向けた技術課題の抽出

(株)フジクラ
積水化学工業(株)
東レ(株)
御国色素(株)
太陽誘電(株)
日本ケミコン(株)
田中貴金属工業(株)
合同資源(株)
ビフレストック(株)
東京応化工業(株)

② 実用化推進に向けた活動

リーダー：馬飼野信一

i) 計測技術の開発と国際標準化

KISTEC
(株)フジクラ
パナソニック(株)
英弘精機(株)
リコー(株)
東レ(株)
太陽誘電(株)

リーダー：豊田 竜生

ii) 用途開拓に係わる普及活動と事業化活動の支援

パナソニック(株)
積水化学工業(株)
KISTEC
リコー(株) 東レ(株)
メルクパフォーマンスマテリアルズ(株)
アイシン精機(株)
御国色素(株) 太陽誘電(株)
田中貴金属工業(株)
キャットアイ(株)
合同資源(株) 英弘精機(株)
太陽誘電(株)